



平成 26 年 3 月 31 日

各 位

会社名 株式会社 U A C J  
代表者名 代表取締役社長 岡田 満  
(コード番号 5741 東証 1 部)  
問合せ先 広報 I R 部長 澤地 隆  
(TEL 03-6202-2654)

## UACJ グループの将来ビジョン ～「世界的な競争力を持つアルミニウムメジャーグループ」の実現に向けて～

世界のアルミニウム圧延品需要は、東南アジア、東アジアにおける飲料缶、家電、建設需要の増加や、欧米における自動車軽量化の動きによる需要の増加などにより、引き続き拡大が見込まれます。一方で国内のアルミニウム圧延品需要は、人口の減少、高齢化の進行、顧客の生産拠点の海外移転などにより、大きな成長は見込むことができないと想定されます。

供給面では、アジア、中東地域において、需要増や産業振興を背景にアルミニウム圧延メーカーの大規模な設備増強が進捗していることをはじめ、北米、欧州において、自動車用パネル材の需要拡大を見越した生産設備増強の動きもあり、競争環境は一層厳しさを増すものと予想されます。

こうした事業環境を認識し、当社グループは「世界的な競争力を持つアルミニウムメジャーグループ」を目指して、グローバルマーケットでの存在感を高めるべく将来ビジョンを策定しました。

その狙いは、統合効果を最大限に発揮することで、国内外の各事業をより強固なものとし、世界のアルミニウムメジャーや、中国メーカーなどとの熾烈な競争に打ち勝ち、拡大するグローバルマーケットのなかで継続的な成長を実現することにあります。

その主な内容は以下のとおりです。

### 1. 将来ビジョン

#### (1) スローガン

「アルミニウムの持つ可能性を最大限に発揮し、社会と環境に貢献する企業となる」

#### (2) 目指すべき企業の姿

- ① すべてのステークホルダーに信頼され、共存、発展できる企業となる。
- ② 世界のすべての地域の顧客から、存在価値を認められる企業となる。
- ③ 各地域の特性に合った製品を的確に開発、供給し、それぞれの地域に根差す真のグローバル企業となる。

以上の目指すべき企業の姿に向け、当社グループの総力を結集して「世界的な競争力を持つアルミニウムメジャーグループ」の実現に向けた施策を強力に推進します。

### (3) 重点方針

当社グループの総力を結集して統合効果を早期かつ最大限に発揮し、以下の3点を重点方針として施策を強力に推進します。

- ① 新規成長分野・成長市場への積極的なグローバル展開
- ② 事業再構築によるコスト競争力の強化
- ③ 新技術・新製品開発の推進

## 2. 板事業の方針と施策

### (1) 最先端の技術開発の推進とグローバルマーケットへの展開

統合による両社の研究開発力、生産技術力の融合により、環境、資源エネルギー、輸送、ITなどの成長分野において、高機能製品・新規製品の提供や用途開発を推進します。また、生産性向上などのコスト低減に向けた生産技術、生産プロセスなどの改善を継続的に行い、グローバルマーケットのニーズに的確に対応する一方で、アルミニウムの可能性を広げる基礎研究も強力に推進し、次世代に求められる最先端技術の実現を目指します。

これらの技術を世界各地の生産拠点に展開し、優れた製品を世界のマーケットに供給します。こうした最先端技術の開発の実現は、当社グループの将来ビジョンにおける製品戦略、グローバル地域戦略の実現の要となるものです。

### (2) グローバルマーケットへの供給体制の整備

主要製品である缶材、自動車用熱交換器材、自動車用パネル材などを中心に、UATH (UACJ (Thailand) Co., Ltd) <タイ>、TAA (Tri-Arrows Aluminum Inc.) <米国>、およびその他の海外グループ会社の生産体制の整備を進め、世界各地域への販売の拡大を目指します。また、日本の拠点も含めた全拠点の相互補完体制を整備し、グループ全体でグローバル需要に対し最適な対応を推進します。

### (3) UATH ラヨン製造所の増強と活用

成長市場である東南アジアおよびその周辺地域への的確な対応として、タイ国(ラヨン県)にアルミニウム圧延工場を建設中です。当製造所は、世界最新鋭の熱間圧延設備の導入を進めており、缶材、自動車用熱交換器材を中心に、高品質と低コストの製品を安定的に供給し、2017年には年間18万t規模の生産体制を確立します。

なお、当該地域をはじめグローバルマーケットの需要動向を注視し、適切な時期に当製造所の熱間圧延能力を最大限に生かすための設備増強を行い、より収益性の高い工場として、当社グループの利益に大きく貢献できる「アルミニウム板製造のアジアにおける基幹工場」となることを目指します。

### (4) 拠点別最適生産配分の実施(最適生産体制の構築)

日本、タイ、米国を基軸とした地域間の相互補完体制を整備し、グローバル供給体制の最適化を図ります。国内生産拠点、UATH、TAAの3極を軸に、各拠点の設備能力と設備特長を生かした品種移管を実施し、最適な生産体制を構築します。

<主要板製品の主なグローバル供給体制>

地域 主要板製品	日本	中国・韓国	東南アジア	インド	中東 アフリカ	欧州	米州
缶材	福井	福井 UATH	UATH	UATH	UATH		TAA
自動車用 熱交換器材	名古屋 日光	乳源 UATH	UATH	UATH	UATH	AFSEL	UATH AFSEL
自動車用 パネル材	名古屋 深谷	需要動向に応じ供給 対応を検討					Constellium との合弁事 業を検討中 (北米)
印刷版用 板材	名古屋	名古屋	名古屋	BAL	BAL	BAL	BAL
LNG 船用 厚板	福井 深谷	福井 深谷					
一般厚板	深谷	深谷 UPIA	深谷				

【注】上表は基本的な供給体制であり、各拠点間で適切な相互補完を行います。

※BAL : Bridgnorth Aluminum Inc.<イギリス>

※乳源 : 乳源東陽光精箔有限公司<中国>

※AFSEL : AFSEL S.A.<ギリシャ>

※UPIA : UPIA Co., Ltd.<韓国>

※Constellium : Constellium N.V.<オランダ>

<各生産拠点における主な生産品種>

工程 拠点	鋳造	熱間圧延	冷間圧延	仕上工程	移管後の主な生産品種
福井	●	●	●	●	缶材、LNG 船用厚板、航空機材、 メモリーディスク用素条
名古屋	●	●	●	●	自動車用熱交換器材、自動車用パネル材、 箔地、印刷版用板材、飲料用キャップ材、 フィン材、その他一般材
深谷	●	●		●	一般厚板、LNG 船用厚板 自動車用パネル材および一般材の仕上加工
日光				●	各種素条の仕上加工
UATH	●	●	●	●	缶材、自動車用熱交換器材、その他一般材
TAA	●	●	●	●	缶材 自動車用パネル材素条（検討中）

### 3. 板事業以外の各事業の方針と施策

板事業以外についても、統合効果を最大限に発揮し、業界トップクラスの利益体質の確保を実現し、グローバルマーケットへの対応や新製品開発などによる競争力強化に努め、継続的な成長を目指します。

#### (1) 押出事業

- ① 国内においては、品種移管の実施により最適な生産体制を構築するとともに、生産拠点間の相互補完体制を整備します。さらに両社技術の融合により、品質、生産技術の向上、およびコスト競争力のさらなる強化を行い、最高の生産性、最高品質を誇る事業を目指します。また、空調用オールアルミ熱交換器などの新技术・新製品の開発や、加工も含む付加価値の高い製品の拡販により、安定した収益の実現を目指します。
- ② 海外においては、強みとする自動車分野製品を中心に生産拠点（チェコ、中国、インドネシア、タイ）の充実を図るなど、需要動向を見据え、最適なグローバル供給体制を整備します。

#### (2) 製箔事業

- ① 箔素材では成長市場であるコンデンサー用、キャパシタ用、リチウムイオン電池の集電体・包材用などの工業材、加工箔では医薬品向け PTP 用を戦略商品と位置づけ、研究開発や生産性の向上によるコスト低減を推進し、販売の拡大を目指します。
- ② 国内においては、生産拠点（伊勢崎、野木、滋賀）間での品種移管の実施により、最適な生産体制を構築し、コスト競争力の向上を図ります。
- ③ 海外においては、UFOM（UACJ Foil Malaysia Sdn. Bhd.）＜マレーシア＞を中心とし、東南アジアおよびその周辺地域の需要拡大に対応します。さらに、同社の優れた圧延設備の活用と、国内の優れた製造技術、品質管理の展開により、事業の競争力強化と拡大を目指します。

#### (3) 鋳鍛事業

- ① 鋳物事業：戦略製品である自動車用コンプレッサーホイール事業のさらなる拡大を目指します。現在、シェア世界第1位を誇るコンプレッサーホイールの品質向上とコスト低減、次世代製品開発の推進により、世界トップの地位を確固たるものとします。
- ② 鍛造事業：国内最大級の 15,000t プレスをはじめとする各種プレスや加工設備を最大限に活用し、液晶製造装置用基板、半導体製造装置用基板、航空機、車両部門を中心に販売の拡大を目指します。また、当社の優位技術であるフリー鍛造については研究開発部門との連携を強化し、オンリーワン製品の市場への提供を推進します。

#### (4) 銅管事業

- ① 国内、海外とも、中国からの低コスト材の流入拡大により事業環境が厳しさを増しているなか、当社グループの優位技術によるエアコン用の内面溝付細径薄肉銅管、高強度銅管、熱交加工品の製品開発とコスト競争力を強化して、販売の拡大を目指します。

#### (5) 加工品事業

- ① 加工品事業各社の保有技術・ノウハウの水平展開、設備の相互活用など、連携強化と協働体制の構築により、最適な生産体制を推進します。
- ② 自動車、熱ビジネスなどを戦略分野と位置づけて製品開発を推進するとともに、北米、東南アジア、中国など、グローバルに加工拠点を展開し、事業の拡大を目指します。

#### 4. グループ会社の体質強化

グループ各社の機能を整理し、連結経営資源の効率化・重点化を図り、競争力のある事業体制を実現します。

<参考：実施済みおよび実施予定案件>

内容	公表日	統合日／予定日
日本製箔（株）と住軽アルミ箔（株）の統合	2013年10月30日	2014年1月1日
（株）UACJ物流と（株）エルコンポの統合	2013年11月28日	2014年4月1日

#### 5. 統合効果の実現

これまで述べたような各事業の方針に沿った施策の実施により、年額150億円以上の統合効果の実現を目指します。また、今後さらなる効果の上積みを検討を強力に推進します。

<参考：統合効果目標> 別紙参照

#### 6. 財務体質の改善と成長投資の両立

将来ビジョンへの取り組みのなかで、財務体質の改善と成長投資の両立を図ります。

- ・ 安定的な収益の確保と資産圧縮の推進
- ・ 有利子負債の削減
- ・ 継続的な成長投資の実施

#### 7. 事業体制、運営の強化

事業環境変化のスピードが増していくなか、変化に対応した事業運営体制の見直しや、組織再編を迅速かつ柔軟に行い、各事業の競争力の維持・強化を推進します。

#### 8. 信頼される企業に向けた取り組み

- ① 当社の経営理念を実践し、社会への一層の貢献に努めます。
- ② コンプライアンスを基本とし、安全、環境管理の徹底を通じ、社会から信頼される企業であり続けます。

#### 9. 中期経営計画の策定

本将来ビジョンに述べる方針と施策に基づき、2015年度から2017年度までの3年間の「中期経営計画」を2014年度第3四半期に公表する予定です。

以 上

## ＜参考：統合効果目標＞

主な項目	効果額（年間）
1. 最適生産体制の構築 (1) 板事業の拠点別最適生産配分の実施 ① 品種移管による製造コストの低減 ② UATH ラヨン製造所への海外向け製品の移管によるコストの低減 ③ 物流の効率化などによるコストの削減 (2) 押出事業、製箔事業の最適生産体制の構築 ① 品種移管による製造コストの低減 ② 物流の効率化などによるコストの削減	85 億円
2. 生産技術・研究開発力の融合によるコストの低減および新製品開発 ① 現場改善力の向上による生産性の改善 ② 生産工程の改善による効率化の実現 ③ 生産管理の仕組最適化による効率化の実現 ④ 新製品研究開発成果の実現（開発製品の上市）	30 億円
3. 購買コストの削減、経費の削減 ① 原料輸送効率の向上 ② 燃料、資材などの集中購買 ③ 業務関連の効率化の実現 ④ 事務所費用など管理費の削減 ⑤ システム統合によるコストの削減、開発費圧縮	30 億円
4. その他効果 ① グループ内での連携強化による合理化、効率化の実現 ② 鋳鍛、銅管、加工品などの事業への派生効果の発揮	5 億円
合計	150 億円以上